

事例1 (ハイキング)

春の京都植物園周辺を散策しよう 第43回「春の健脚の集い(ハイキング)」実施報告

開催日: 令和4年4月7日(木曜日)午前10時出発
 散策路: 京阪「出町柳」→賀茂川河岸→植物園・昼食→賀茂川河岸→京阪「出町柳」
 参加者: 29名

全国的に桜の開催日が早い報告あり4月7日は心配していましたが、当日は桜が満開で賀茂川河岸をのんびりゆたりと植物園まで歩きました。植物園では色々な花と共に花見ができました。今回、「ふたば」の黒豆大福よもぎ餅とお茶を支給しました。次回も、より多くの方が参加されるような楽なコースを設定しますので、多数の参加を持っています。



担当幹事: 稲垣、宮川、今村、吉田、田中、宮谷、船曳、定別当、金子

事例2 (俳句)

掲載日: 2024/1/7 11:58
 作成: 2023-04-25

第58月回 俳句を楽しむ会「かわせみ会」会報

- 1 開催日 2023年 4月27日 13:00～ 第4木曜日
大阪工場内 ゆうゆう会館ニテ
- 2 参加人数 男性8名・女性2名 計10名
- 3 今回の季語 四月(卯月)の季語全般 (季語重なりがないこと!)
- 4 選句の結果 *写真をみて一句! を試行してみる。



- *花と空舞測ブルー春の海
- 老いて知る色あざやかな春の野辺
- 長椅子をひとり占めて飛花落花
- 花冷えや入所の友を送る朝
- 早や散りし未だ蕾の花便り
- 別れの春一踏平安発青広
- ひらひらと桜最後の見栄を張る
- 雨川に抱かれ青割りの桜散る
- 役目終え散れゆく桜自慢顔
- 大声で遊ぶ夢中な春休み
- 魅惑の夕花粉光環目に涙
- 独りみの戸締り早め春灯
- 春朝日浴びて二拍し良き日なる
- 散りてなお川面舞き詰め花枝
- 滑走路孫発ち夢は春空に
- 菩提寺の風にざわざわ竹の秋
- *鹿枝の花壇の隅にネモフィラや
- *ネモフィラや海空を染め映える丘
- *万博とネモフィラ競う河内湾
- 入学しちゃんからさんへ中学生
- 川べりをぞろぞろ歩いて春惜しむ
- けい流を止める花背の花いかだ
- 曲がり角旗が見守る一年生
- 霽りて姿ほやけし交野山
- 春雨や手拿で濡れる君の髪
- *ネモフィラの視野をはみ出す春の風
- *群は発ち水面にボツリ親子鴨

*写真で一句!
 兼題: 舞測の春



- 5 講評・添削 被講: 東さん
- 1) 語彙・表現良い句、見直すことでより良い表現へ
 - ・群は発ち水面にボツリ親子鴨
 - 群に取り残された感じが表現されている。
 - ・故郷へ行く道すがら山笑う
 - 春の季語で春の芽吹きはじめた華やかな山の形容。
 - ・菩提寺の風にざわざわ竹の秋
 - 春の季語で竹は春に黄変する。
 - ・霽りて姿ほやけし交野山
 - 「クワフリ」⇒「黄砂」と同じで春の季語
 - ・ひらひらと桜最後の見栄を張る
 - *「見栄を張る」の方がよいのでは…!!
- 2) 季語無・当該季外れ・季語重なり! + 季語色々!
 - ・春霞思えば覆う黄砂群
 - ① 共に春の季語 ②
 - ・群は発ち水面にボツリ親子鴨
 - *「鴨」は冬の季語
- 3) 字余り・字足らず
 - ・春風に 舞い落ちる花 絨毯 => 絨毯や
 - 4文字(ウツク) ⇔ 字足らず!

選外句

- ・入学式白き靴底椅子の下
- ・腰すべり足腰激痛春不動
- ・春霞思えば覆う黄砂群
- ・「七つの子」合わせ帰枝にカラス鳴く
- ・春風に舞い落ちる花絨毯や
- ・森の苦切株座り桜舞
- ・長堤桜吹雪の限りなし
- ・故郷へ行く道すがら山笑う
- ・思わせる我が家絨毯ネモフィラや
- ・青葙う環瑠唐草や空に海
- ・満開のネモフィラ眺め宇治のお茶
- ・ネモフィラ空と海と会うあたり
- ・空の青ネモフィラの青あざやかに

- 6 次回(#59)開催日 2023年 5月25日 13:00～(15:00) 第4木曜日
 兼題: 五月(皇月)の季語全般 注1) 季語の無い句や季語重なりがないこと!
 写真: 花菖蒲/菖蒲園/(燕子花) 注2) "五七五"の17音(文字)を満足すること!
 歳時記を参考に!
 大阪工場内 ゆうゆう会館ニテ